

企画展のお知らせ

## からくり仕掛けの人形 - オートマタ展 (博物館コース)

2010/9/14 (火) - 11/13 (土)

世界でも類を見ない実演数です。1回のコースで解説を交えながら約30体を実際に動かします。



オルゴールの小さな博物館で披露するオートマタは、19世紀にフランスで産業として栄えた西洋のからくり人形です。時を同じくして栄えたオルゴールを動かす動力を利用して、人形を動かします。当時のオートマタは時代の最先端を行く総合芸術品として現代でも珍重されています。

19世紀のフランスは、産業革命により社会構造や産業構造が飛躍的に変化した時代。常に新しいものへの憧れを抱いた人々の趣味や嗜好の変化に敏感に対応しながら、オートマタ職人達は時代に密着した製品を生み出していました。そんな時代に生まれたオートマタは、19世紀のフランスを映し出す鏡でもあります。

今回の企画展では、19世紀のフランスと照らし合わせながら、その時に作られたオートマタを、実際に動かしてご覧にいたします。



例えば・・・

- ◇ 万博開催でジャポニズム流行 → 日本人形のオートマタ  
1851年のロンドン万国博覧会を皮切りに、各地で万国博覧会が開催される。万博はオートマタの絶好の宣伝手段。また異国の人形が作られ人気を博した。
- ◇ 道化の人気復活 → ピエロのオートマタ  
古くから王や貴族に召抱えられていたフル(道化)は、19世紀になると大道芸として、サーカスやミュージックホール、劇場を活動の場所とし人気を博す。
- ◇ 産業の発展 → ショーウインドーで飾られるオートマタ  
街には新しい商品が溢れ、オートマタをショーウインドーに飾り宣伝を行う商店も。



企画展示は博物館コースでご見学になれます。博物館コースは、博物館の5階・6階を巡るツアーです。企画展に加え、常設展でのオルゴール演奏。オルゴールの振動を体感できるベンチ、オルガン演奏体験、カフェでのティータイムなど盛りだくさんのコースです。

貴誌にご掲載いただけましたら幸甚でございます。掲載の際にはお手数ではございますが、ご一報くださいませ。よろしく願い申し上げます。ポジのお貸し出しや写真データをメールでお送りすることも出来ます。その他、入場券のプレゼントなどご相談くださいませ。(研究者であり蒐集家の館長が自ら解説するコースは10月2日土曜日の11時となります。)



お問合せ  
オルゴールの小さな博物館 広報担当: 名村・山上  
TEL : 03-3941-0008 03-3945-8817 FAX : 03-3947-1025  
ホームページ <http://musemuse.jp>  
メール [press@musemuse.jp](mailto:press@musemuse.jp)